

2024年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第10回	参加者数	14組 32人
テーマ	早春の雑木林のいきもの～カモ類、越冬昆虫～		
実施日	2025年2月16日	天候	くもり
場所	山村ダム		
コース	10:00 開始 12:00 終了 ダム湖→ダム湖南側の農道→ため池→ダム湖		
<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の（大）大三角形の紹介。 ・ダム湖にいるカモ類をフィールドスコープで観察してもらった。 ・ニホンアカガエルの卵の観察。 ・ため池でオシドリを観察。 ・アラカシの葉やドングリの観察 ・三重県で分布が拡大している外来種の昆虫フェモラータオオモモブトハムシの紹介と虫こぶの観察。 ・30年前に山村ダムで見られたカモを紹介し、カモ類が激減している現状を説明。 			
<p>参加者の声など（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当選通知の地図が分かりにくい。 ・下水として排水している汚水が必要な生き物がいるという話が印象に残りました。貴重な鳥が見られて良かったです。 ・虫をもっと見つけたかったです。 ・色々な鳥の種類を見ることが出来て良かったです。 ・トモエガモがあんなにたくさん見られると思っていなくて感動しました。 ・季節に応じた自然の表情を観察出来て良かったです。 ・竹やぶが怖かったけど楽しかった。 ・オシドリやハムシの虫こぶなど見られて良かったです。また、下水の話は勉強になりました。 			
<p>観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）</p>			
昆虫	ウラギンシジミ、アブラゼミ（脱皮殻）、ナナホシテントウ、チョウセンカマキリ（卵鞘）、フェモラータオオモモブトハムシ（ゴール）		
植物	アカメガシワ、カクレミノ、ヒガンバナ、ナズナ、ツルグミ、ホトケノザ、モウソウチク、オオイヌノフグリ、タカサゴユリ、ギシギシ、タネツケバナ、ヤエムグラ、コモチマンネングサ、キュウリグサ、ジャノヒゲ、ナガバジャノヒゲ、ケキツネノボタン、セリ、ミツバ、ヤダケ、アラカシ		

鳥	ハシブトガラス、ホシハジロ、マガモ、カルガモ、カンムリカイツブリ、キセキレイ、メジロ、ホオジロ、キジバト、トビ、タシギ、コゲラ、シジュウカラ、アオジ、ダイサギ、トモエガモ、オシドリ、カワウ、ハヤブサ、ウグイス(声)、ヤマガラ、シロハラ、ヒヨドリ
両生類	ニホンアカガエル(卵)
クモ	イオウイロハシリグモ
その他	キツネ(フン)、モグラ塚、イノシシ土耕跡

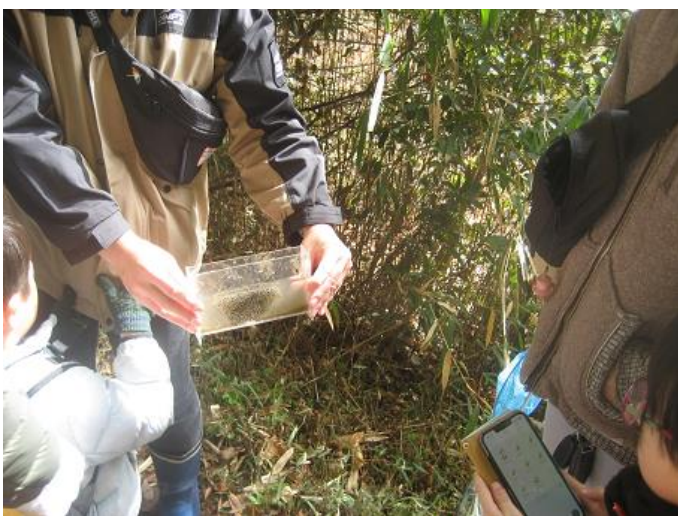
冬の大三角形のお話



野鳥観察



ニホンアカガエルの卵の観察



オシドリの観察

